

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★☆☆☆
単元	ぎなた読みを解説しよう。				
課題	<p>次の文をどのような意味として読むでしょうか。</p> <p>「くるまでまつ」</p> 				
課題の説明	<p>ぎなた読みとは、「『弁慶が、なぎなたを持って』と読むのを『弁慶がな、なぎなたを持って』と読むこと、句切りを誤って読むこと。」（デジタル大辞泉の解説より）です。</p> <p>どのように区切るかで意味が変わります。</p> 				
ヒント	<p>二通りに読むことができるよ。二通り考えられると素晴らしい。文をどこで区切るかを考えることは大切なことなんですね。</p>				

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	文法-言葉の単位-				
課題	言葉の単位を知ろう。				
課題の説明	<p>①教科書を読もう。（光村図書 p 240～243、東京書籍 p 248～250）</p> <p>②ノートにまとめよう。言葉の単位の1～5をそれぞれまとめよう。</p> <p>③言葉の単位がどのように区切られているかを考えておこう。</p>				
ヒント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の単位3～5は違いを確認しておこう。</li> <li>・言葉の単位3「文」は書き表すとき「。」がつけられることがポイントです。</li> <li>・言葉の単位4「文節」は意味の上で、不自然にならないことがポイントです。文節と文節の間に「ね」を入れて、意味が通じることで判断します。</li> <li>・言葉の単位5「単語」は言葉の最小単位です。国語辞典の見出し語になります。</li> </ul>				

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	文法-小学校の教科書-				
課題	小学校1年生国語の教科書表記（書かれ方）の意味を考えよう。				
課題の説明	<p>下の文は小学校1年生国語の教科書「おおきなかぶ」の一節です。左は一般的な文の表記（書かれ方）です。 なぜ、右の文はこのようになっているのでしょうか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> おじいさんが、かぶのたねをまきました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> おじいさんが、かぶの たねを まきました。 </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>				
ヒント	①右は言葉の単位でいうと、なに（言葉の単位1～5のうちどれか）で、分けられているでしょうか。 ②①の言葉の単位の説明での特徴はどのようなことがあげられるかを考えてみよう。				

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★★★☆☆
単元	文法-言葉の単位を理解して-				
課題	ぎなた読みのできる文を考えよう。				
課題の説明	<p>①簡単な文を見つけましょう。  ②正しい文節に区切ってみよう。  ③文節の場所を変えたり、単語の一部を文節にしてみよう。  ③二通りの意味になるように作ろう。  例「わたしはみがきじょうずです。」  A私は、みがき上手です。  B私、歯みがき上手です。</p> 				
ヒント	<p>①について、日常の出来事を文にしたり、教科書の文をつかってみてもいいよ。  ②「は」や、「が」などのように文節の終わりに来る単語が入った言葉を見つけると作りやすいよ。  「はがき」「はみがき」など</p>				

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★★★★
単元	文法-こんなときに文法は必要-				
課題	<p>あなたは小説家だとします。次の文を、「海へ行った」ことが、より印象に残る文に変えたいと思います。 でも、言葉は削りたくありません。 したがって、文節の場所だけを変えて、より印象に残る文に書き換えてください。</p> <p>「私はきのう青く美しい海へ行った。」</p> 				
課題の説明	<p>①文を文節に分けます。 ②文節の順番を変えて見よう。 ③文の意味が変わっていないか確認しよう。 ④「海へ行った」ことが、より読者に伝わっていれば完成です。</p>				
ヒント	<p>「海へ行った」ことが伝わるようにするには、「海へ行った」を文のどこに移動したらよいかを考えよう。</p>				